

持ち家派の理由、賃貸派の理由

保障、保障っていうけど
一体どのくらい必要なんだろう？



必要保障額は「環境の違い」「考え方の違い」「生き方の違い」などでひとりひとり違います。

例えば、住まいの環境をみるだけでも、だいぶ違ってきます。

ご主人に万が一の時の必要保障額は
「住居費」だけでもこんなに違います

持家の場合

家があれば、修理費や管理費だけで済みます。
住宅ローン返済中でも、団体信用保険に加入していれば残金は0になります。

賃貸の場合

家賃を月額10万円としても、例えば30年間借りるとなると、
家賃が変わらないとしても、 $10\text{万円} \times 12\text{カ月} \times 30\text{年} = 3,600\text{万円}$ です。

持ち家派の考え方

<所有したいと思う理由>

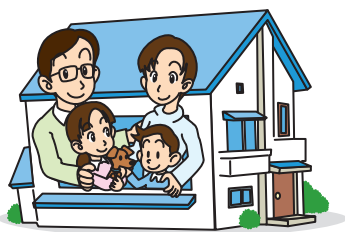
同じところに安心して住み続けたいから…55.2%
長い目で見ると所有した方が有利だから…23.7%
(資産価値があるから)
子どもに財産として残したいから…9.2
リフォームが自由にできるから…5.1%

賃貸派の考え方

<所有する必要はないと思う理由>

多額のローンをかかえたくないから…28.6%
維持・管理のわずらわしさがいいから…19.8%
家族の状況の変化に合わせて自由に住み替えたいから…18.1%
固定資産税・相続税等の支払いが重いから…5.6%
資産価値として期待できないと思うから…4.8%

内閣府大臣官房政府広報室「住宅に関する世論調査」平成16年11月調査



あなたを取り巻く環境は？

- 持ち家ですか？ 賃貸ですか？
- 子どもは何人ですか？
- 月々の生活費はいくらですか？
- 老後の資金準備はどうか？
- 緊急予備資金はいくら必要ですか？

環境によって必要保障額は違ってきます

SIG-0018-hosho